

## 保健・福祉・介護事業者数

(市内事業所平成21年4月)

	数 (箇所)		数 (箇所)
病院	3	短期入所生活介護	4
診療所	28	短期入所療養介護	1
歯科診療所	16	福祉用具貸与	3
居宅介護支援	6	認知症対応型共同生活介護	5
訪問介護	4	小規模多機能通所介護	6
訪問入浴	2	認知対応型通所介護	3
訪問看護	3	介護老人福祉施設	4
通所介護	8	介護老人保健施設	1
通所リハ	1		

## 保健師が取り組んだ認知症予防支援活動

なぜ取り組もうと思ったか

モデル事業の取り組み

## ①保健師の活動の中で



- 地区巡回の健康教室や家庭訪問の中で  
認知症に対する不安の声が多くあったが、保健師は地区の人々や家族からの相談に対して、見守りやサービス利用につなげる助言しかできなかった。



他市町村の先駆的な取り組みをされているところの視察、研修を実施した。

生きがいを持った生活を送ることで軽度の認知症を回復したり、進行を遅らせることが出来る。

## ②旧朝来町の高齢者の状況

(平成13年4月1日現在)

- ①総人口 7,354人
- ②65歳以上 2,078人(28,3%)
- ③認知症(保健師把握分)180人
- ④ランクⅠ(軽度認知症)41%を占めていた。

軽症の方を重症化しない対策

高齢者を勇気づけ、生きがいを持ち元気に暮せる地域づくり対策

保健師で取り組んだ活動(H12~H16)合併前

- 地区でのモデル事業の取り組み(H12~H14)
- 生きがい教室(H14~H16)、家族相談会  
介護保険対象外の軽度の認知症の方対象



- 認知症予防や重症化の予防の事業の展開していくには保健師だけではできない。
- 地域住民、保健、医療、福祉が一体となった活動必要不可欠。

**地域住民、保健、医療、福祉が  
一体となった活動**

**①認知症予防検討会立ち上げ・・・H15.7月**

- ・情報交換、
- ・モデル事業の実施から脳ドリル、脳元気ゲームの効果の実証、脳健診の意識づけ

**②あさご脳耕会・・・H17～18年度（旧朝来町内）**



**③朝来市脳耕会に改称**

・・・H19年度（市内全域を対象）

H19年度～H21年度

朝来市脳耕会の活動の目標として

- ・認知症に対する正しい理解を全市に拡大し  
早期発見、早期対応、地域の認知症の人や  
家族の応援者（サポーター）をつくる対策



**認知症になっても地域で自分らしく  
安心して暮らせる地域づくり**

# 朝来市脳耕会



## 構成委員

- ・保健医療代表(医師、臨床心理士)
- ・住民代表(8名)
- ・介護事業所代表(2名)
- ・社会福祉協議会代表(1名)
- ・行政関係機関(2名)

計15名

事務局 : 健康課

## 脳耕会



## グループワーク

自分達が住んでいる  
地域はどんな地域？

認知症についてど  
んなことでも・

どのような取り組みが必要  
か  
(今すぐ取り組めること、  
何かあればできること)

## 主な予防活動

平成17年度は旧朝来町のみで実施  
平成18年度以降は朝来市全域を対象

1. 認知症に対する正しい理解の普及啓発
2. 早期発見、早期対応対策
3. 各地域でのミニデイ
4. 脳耕ドリルの利用の推進

### 1. 認知症に対する正しい理解の普及啓発

老人クラブの健康教室の様子



## 認知症講演会(専門医)と 寸劇(ボランティアグループ松の会)

18年度

市内8会場で実施(10月~12月)約700人参加



- ・ 医師講演会  
「認知症予防について」



- ・ 寸劇ボランティアグループ松の会  
地域みんなで支え合おう

## 2. 早期発見、早期対応策

### (1) 脳の元気度チェック

(元気な時から自分の脳の元気度を知り生活を振り返りましょう)

- ☆開催頻度 月1回 (予約制)
- ☆時 間 午後1時30分~4時
- ☆内 容 健康相談、脳の元気度チェック
- ☆対 象 者 40歳以上(朝来市民)
- ☆担 当 者 臨床心理士、保健師
- ☆費 用 無料



明るく 楽しく 生き生  
きと



住所 朝来市  
氏名

発行日 平成 年 月 日

### 3. 各地域でのミニデイ

(いきいき高齢者を増やすための支援)

#### 社会福祉協議会

- ・レクリエーション用具の貸し出し
- ・ふれあい講師の派遣

各地域でのミニデイ

#### 地域包括支援センター

- ・レクリエーションの紹介、実施
- ・脳ドリルの活用
- ・朝来市いきいき体操の普及・指導





## 4. 脳耕ドリルの利用の推進

(生きがいをづくりのひとつとして)

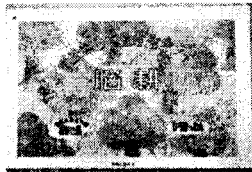
脳耕ドリルのPR、利用等の相談、使用方法の説明等



【種類】

☆短編名作集…「種まき編」「水やり編」「収穫編」

☆じろはったん…「種まき編」「水やり編」「収穫編」



【対象者】40歳以上の方

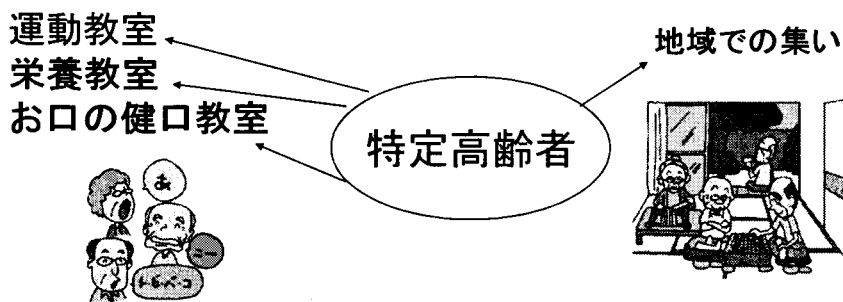
## 地域で認知症を支える取り組み

1. 認知症の方や家族を支える支援
2. 地域で認知症を支える支援

# 1. 認知症の方や家族を支える支援

## ① 特定高齢者へのサービス

状態を改善したり悪化を予防するためのプランを作成し、サービスの利用等を通じて認知症予防の取り組みを支援



## ② 介護保険での認知症の方に対するサービス 住み慣れた地域を離れずに利用できる

### ③ 家族介護者交流会



## 2. 地域で認知症を支える支援

### ① ボランティア養成講座

- ・余暇活動ボランティア講座
- ・サマーボランティア体験講座
- ・市内福祉マップ作成講座
- ・地域介護技術促進事業
- ・ボランティア・アドバイザー講座
- ・介護教室 等を開催し

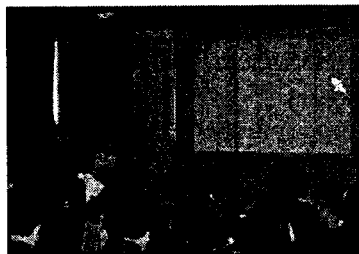


ボランティア活動への参加のきっかけ作りを行っています

### ② 認知症サポーター養成講座

～認知症になっても安心して暮らせる  
朝来市にするために～

認知症サポーターとは、認知症について正しく理解し、  
偏見を持たず、認知症の人や家族に対して温かい目で  
見守る認知症の人への「応援者」です。



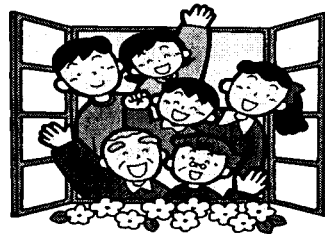
- 保健師活動・・・

「朝来市脳耕会」の活動の推進等、今後も住民と行政や関係機関が一緒になって活動していく保健師活動の展開



### いきいき高齢者を増やす地域づくり

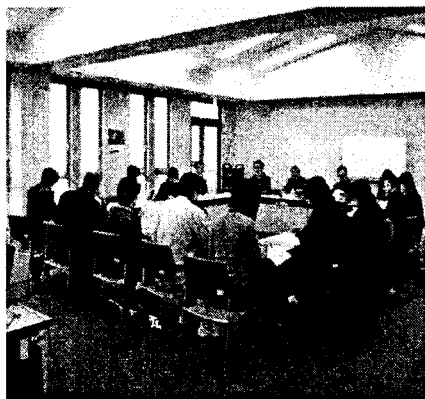
認知症になっても地域で自分らしく安心して暮らせる地域を目指す



## 但馬地域における認知症地域資源ネットワーク構築事業

- 目的

高齢化の進展した但馬地域で認知症ケア対策を進める



18年度「認知症ケア対策の進め方検討会」  
19年度「地域ネットワーク構築検討会」

## 認知症しあわせ計画 ～しあわせはみんなのために～

⇒そのための地域づくり・集う場作り

保健・医療・福祉の機関が連携しながら住民の健康と福祉を支援する

場を機能させる  
ための支援

- ・人づくり  
(ボランティア、サポーター、  
ケアスタッフ、医療職)
- ・ものづくり  
(介護予防啓発、健康教育、  
ゲーム、楽しみづくり)

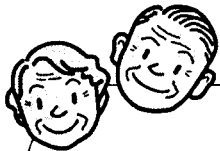
いつまでも自分らしく  
生き生きと暮らすために  
いろいろな人が集い  
楽しみ、健康に取り組み  
支え合う地域づくり

地域づくりの支援

- ・老人クラブの活性化
- ・いきいきサロンの  
立ち上げ

- ・健康づくり
- ・認知症の早期発見、早期対応
- ・認知症予防
- ・認知症になってもみんなで支え合う地域づくり

### みんなしあわせ



認知症に係わる地域資源が相互に  
連携しながら有効な支援を行う体制  
の構築と、地域で安心して暮らし続け  
ることのできる地域づくりを進める

いきいきとした高齢社会を目指して～いつまでも自分らしくいきいきした人生を～

- \* 認知症に対する正しい理解の普及啓発と予防、早期発見、早期治療に取り組むことで、認知症の予防・重症化の予防・要介護状態を予防する。
- \* 認知症になっても安心して地域で暮らせる支援体制を確立する。

＜目標＞

- 1 早期相談、早期発見（脳の元気度チェック…保健師、看護師、心理士等）
- 2 予防教育
  - \* 健康管理…健康診断を受けよう、生活習慣を予防しよう。
  - \* 生き生きとした人生を知る…役割、趣味、生きがいづくり、友人関係、集い等への参加
  - \* 脳を刺激する取組…脳トレーニングの取組、レクリエーション等

